

ラジオNIKKEI 月曜日16時～

『キラメキの発想』 資料

2024年7月1日放送分

番組では、個人投資家・トレーダー向けに、相場を大きく動かしそうな内部・外部要因について、OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰している「OP売坊戦略コース」の詳細については「optionclub.net」をご覧ください。「OP売坊」で検索！

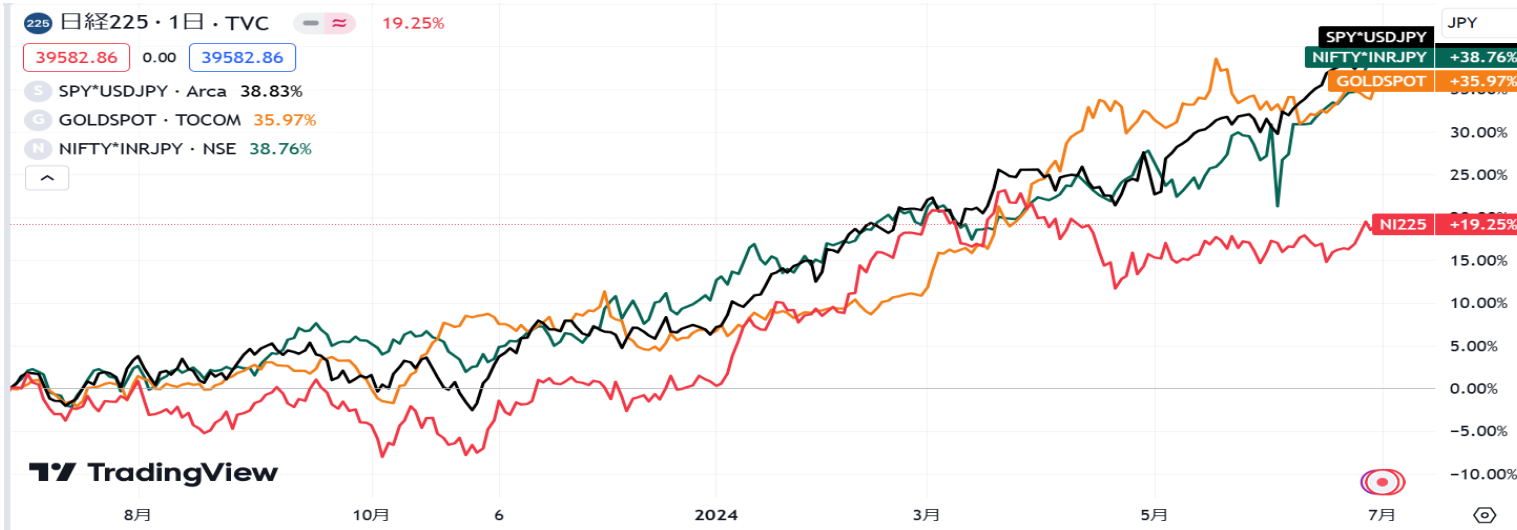


OP売坊

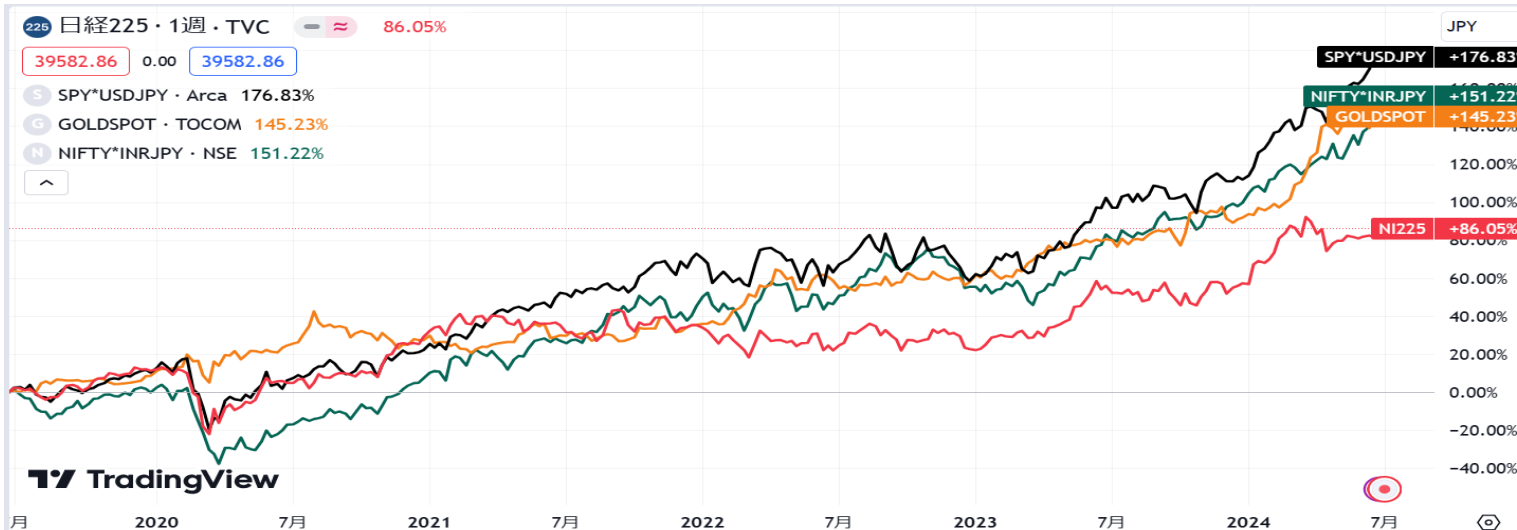


日経平均の上昇は短期的にも中期的にも劣後していた (P.2)

円建てでみた金、S&P500、インドNIFTY、日経平均の短期的成績 (23年6月末～)



円建てでみた金、S&P500、インドNIFTY、日経平均の中期的成績 (19年6月末～)



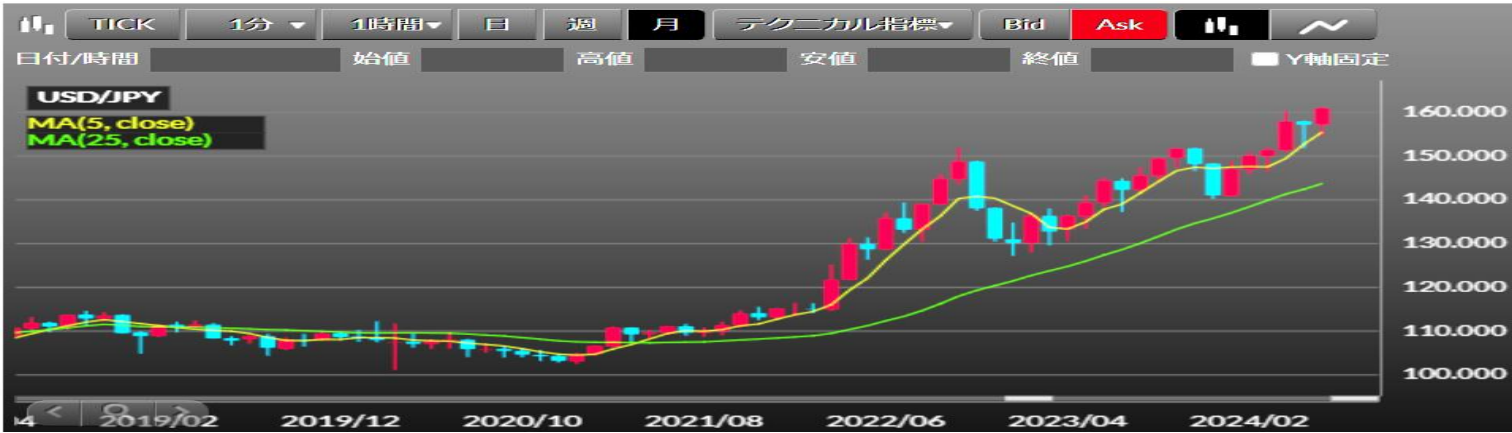
区切りよく過去1年(上段)で見ても過去5年(下段)で見ても、日経平均は上昇しているとはいえ、同一通貨建て(円)で評価すれば、金や米国株やインド株に比べ成績が劣後しています。これは機会損失です

運用の基本的な意義とは「将来の購買力を増加させること」です。したがって「名目」の数字ではなく、インフレを考慮した「実質」で考える必要があります



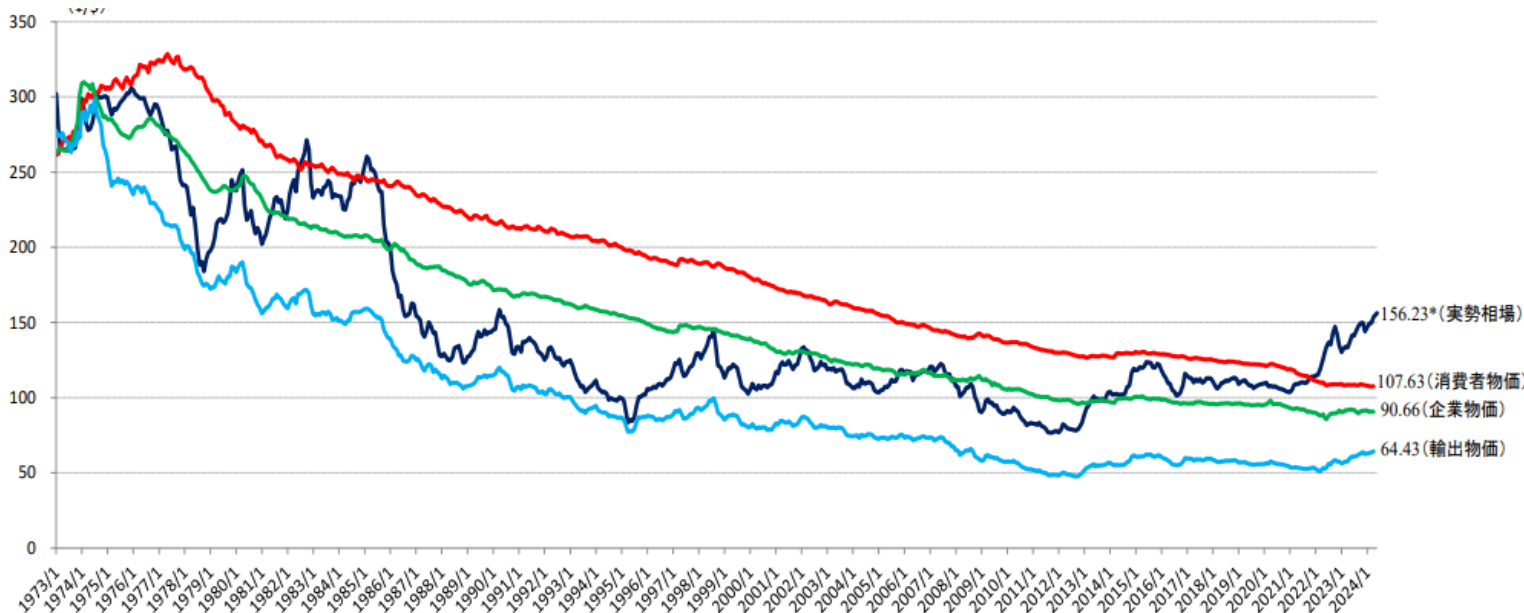
円はいま暴落1丁目か？ (P.3)

ドル円レート月足 (2018年～)



出所) DMM証券 (2024年6月末)

ドル円購買力平価 (消費者物価・企業物価・輸出物価) と実勢相場 (24/05/21)



出所) 公益財団法人 国際通貨研究所

購買力平価説とは「為替レートは短期的にはさまざまな要因から影響を受けるものの、長期的には2国間の財・サービスの価格が均衡する水準に収束する」という理論です

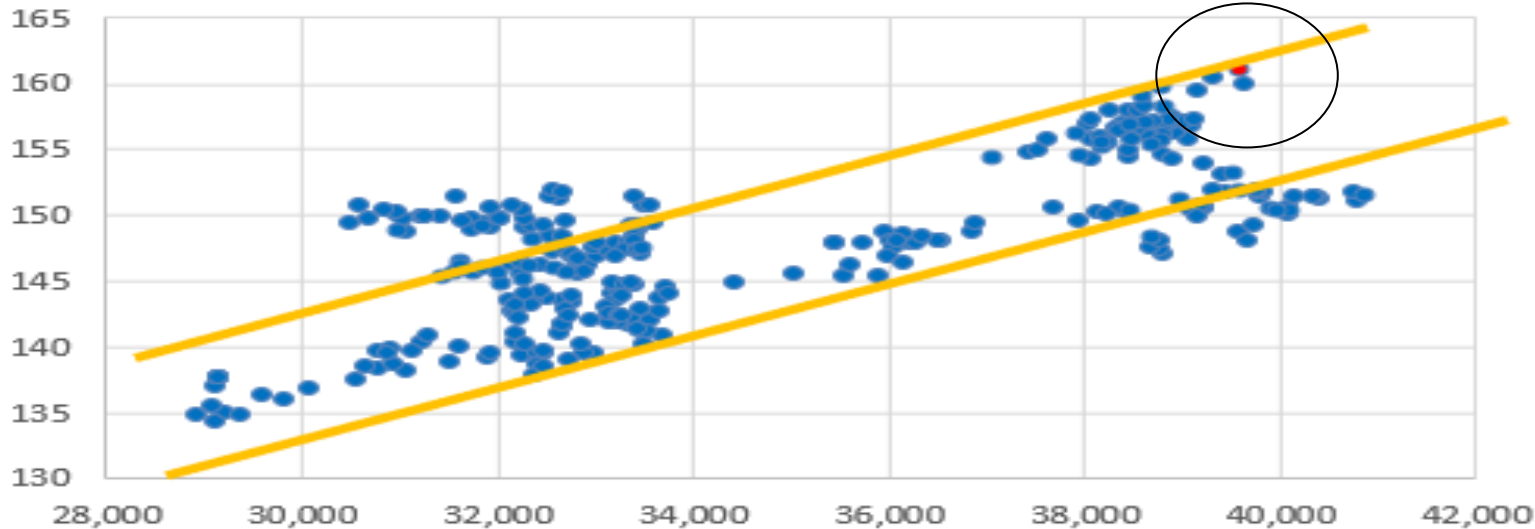
ドル円は長く企業物価と輸出物価の購買力平価間で推移していましたが、日本の貿易収支が赤字になったところから企業物価と消費者物価の間での推移に変わり、現在は日本への不信感の高まりもあり、完全に購買力平価モデルが機能しなくなっています





円安効果もなくなりトリプル安も？ (P.4)

日経平均（横軸）とドル円（縦軸）の分布図（●は24年6月28日）



出所) ブルームバーグより筆者作成

S&P500とドル建て日経平均の推移



出所) ブルームバーグより筆者作成 (2024年6月28日現在)



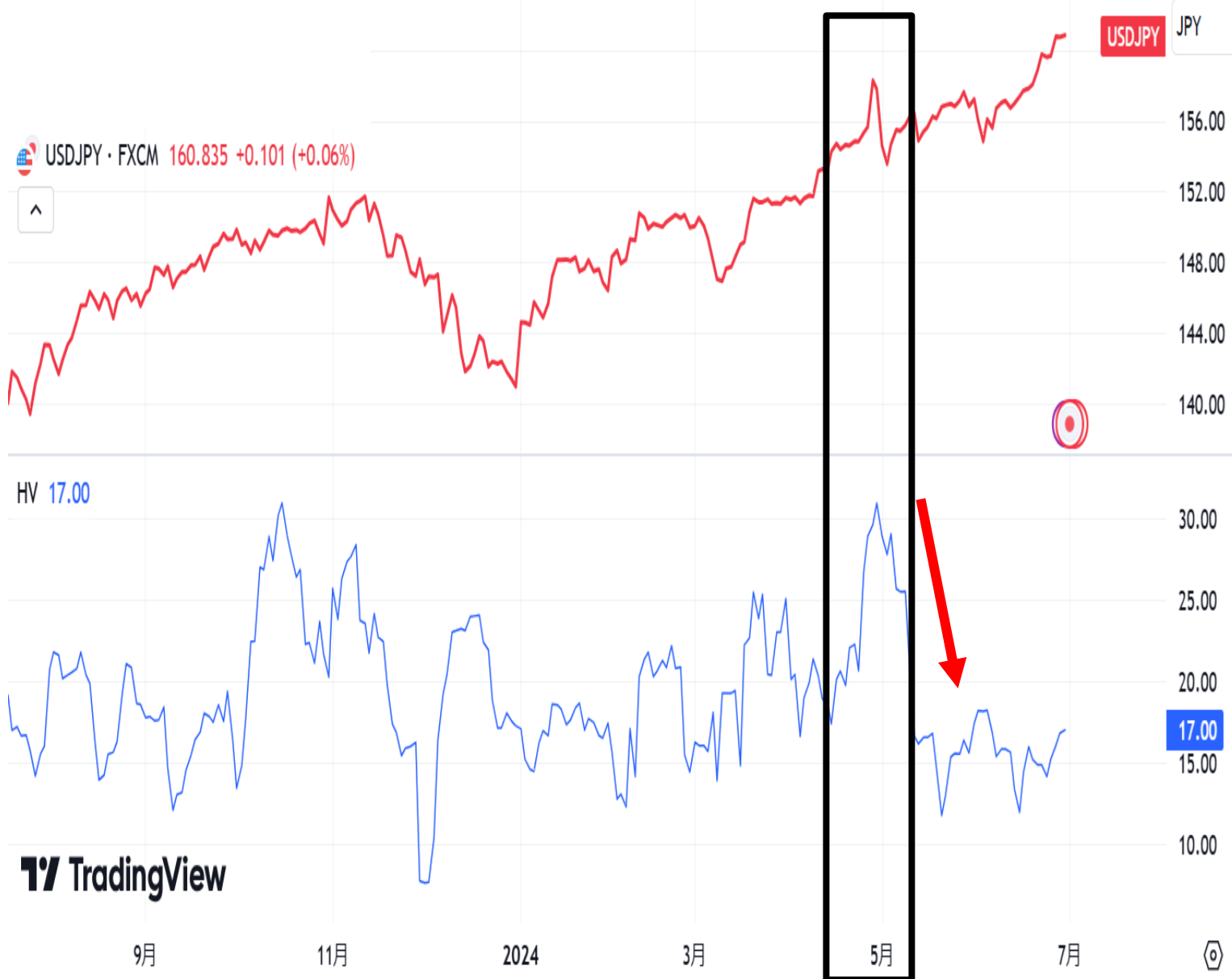
上の分布図は上昇要因であった円安に対する日経平均の感応度が悪くなっていることを示しています。政治家の裏金問題とその対処や経団連企業の不祥事続出もあり、日本への不信感から日本株離れが進んでいる状況です。いずれトリプル安（日本円・日本株・日本国債の下落）が起きかねない状況にあります

ただし、目先165円まで円安が進めば、日経平均は41000円もあり得るでしょう



現在の為替相場で介入の理屈は通らない？ (P.5)

ドル円レートとそのヒストリカル・ボラティリティの推移



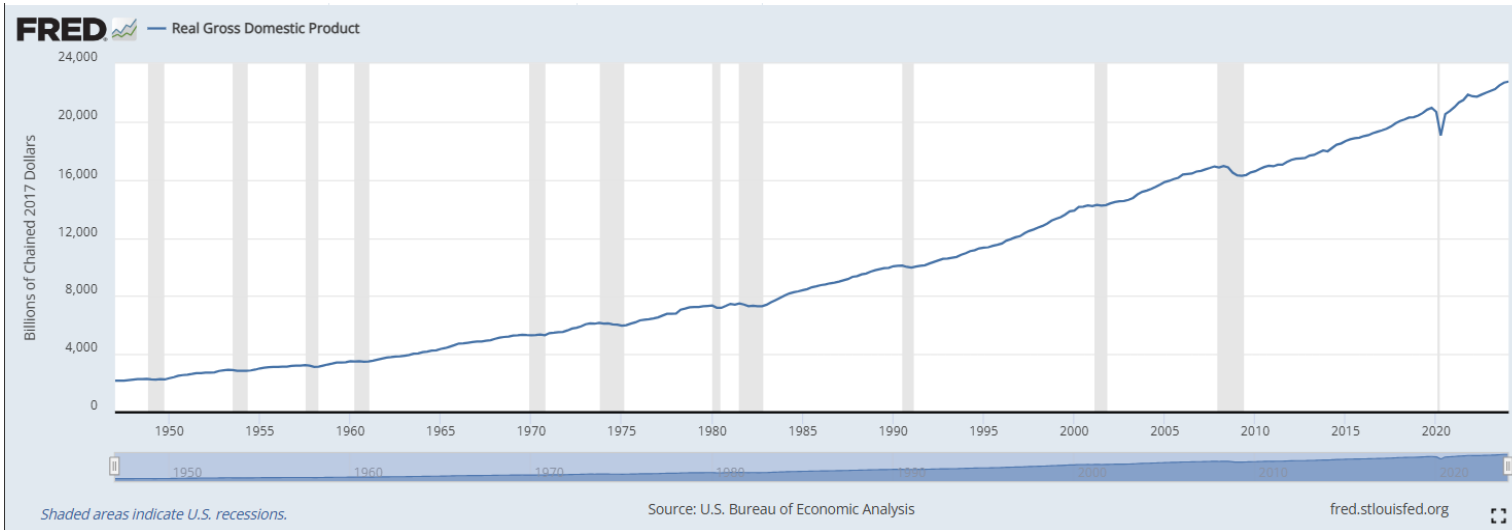
前回の為替介入はヒストリカル・ボラティリティ(HV)が高い時期にありました。しかし、現在はドル円が急騰ではなく、ギリ高であるため、HVが下降局面にあります。したがって、ドル高円安が進行しても、介入する理由を米国に説明しにくい状況です

ただし、7月末日付で財務省財務官が神田氏から三村氏に替わる予定です。“勇退記念介入”があるかもしれませんし、過去にとらわれない論理での介入があるかもしれません

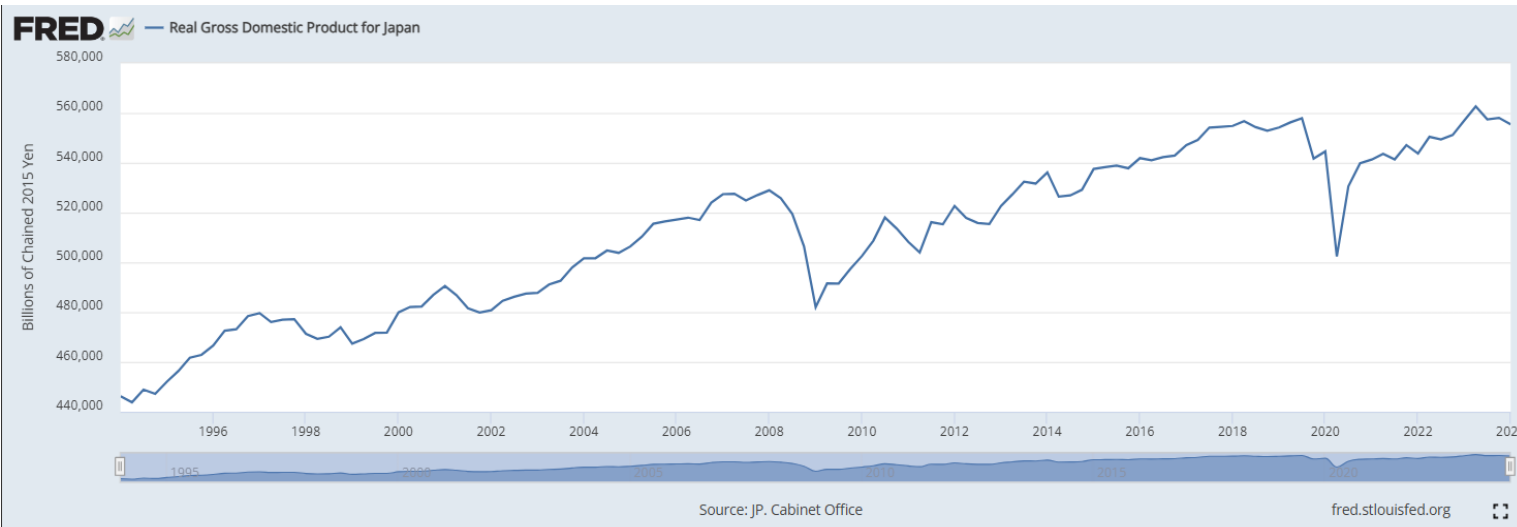


日本はピークアウトなのか？ (P.6)

米ドル建ての米国の実質GDP推移 (1947年～)



日本円建ての日本の実質GDP推移 (1994年～)

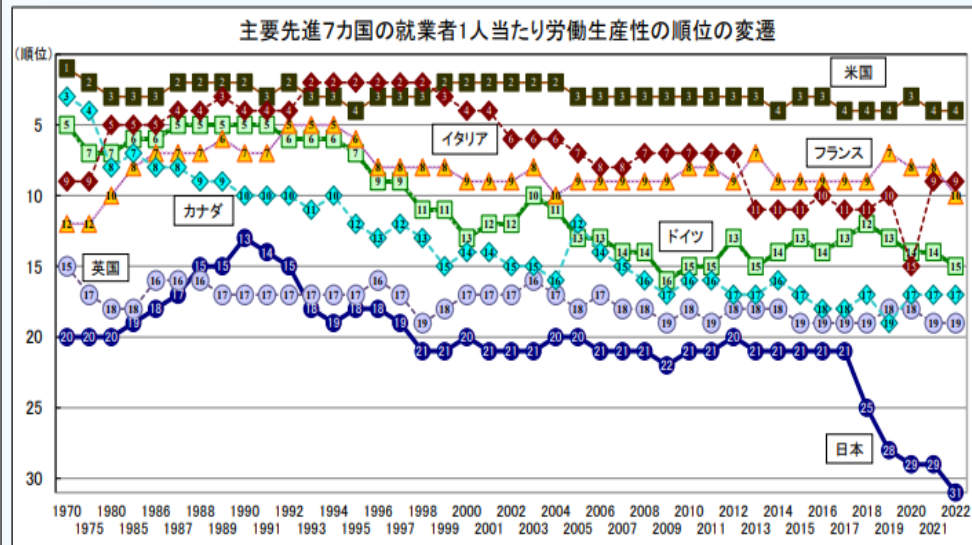
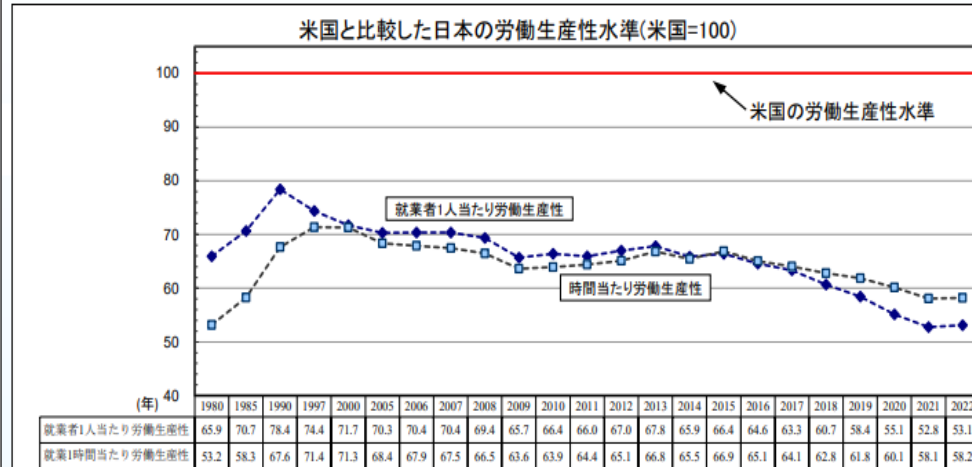
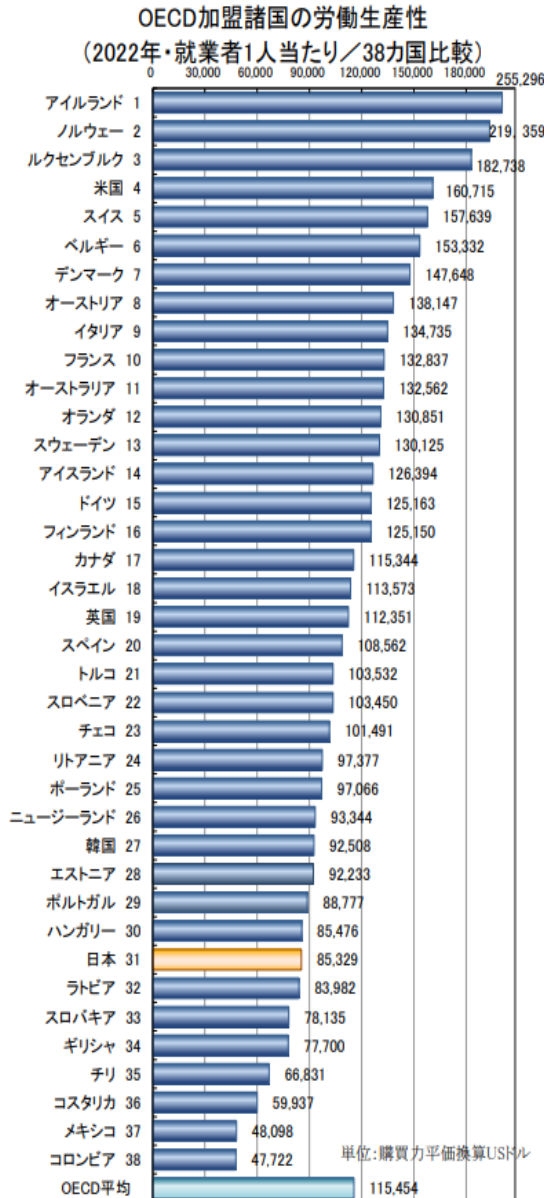


米国の実質GDP（国内総生産）が順調に拡大しているなか、日本の実質GDPは低下の兆候を見せ始めています。日本株が米国株に対し相対的に負けている一因でしょう

なお、米国の実質GDPについては、株高など資産インフレによる富裕層の消費で支えられている面が大きいとも考えています



GDP低下兆候の背景に労働生産性の低さが (P.7)



日本と米国の生産性の差は歴然です。また、近年さらに拡大しています。日本株が相対的に弱い理由がここにもあります

日本の生産性が低いのは技術力などの水準が相対的に出遅れていることが大きいと思います。つまり、付加価値が低いことが大きいと考えています



24年8月限SQ日までの注目イベント (P.8)

<米国>

7月03日：FOMC議事録

7月05日：雇用統計（6月分）

7月11日：消費者物価指数（6月分）

7月12日：生産者物価指数（6月分）

7月31日：FRB政策金利

<欧州・英国>

6月30日：仏下院選挙（1回目）

7月04日：英総選挙

7月07日：仏下院選挙（決戦投票）

7月18日：欧州政策金利

8月01日：英国政策金利

<日本>

7月01日：日銀短観

7月07日：東京都知事選挙

7月26日：消費者物価指数（東京7月分）

7月31日：日銀金融政策決定会合

※第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りとなる日です。

農林中金が外債投資の失敗で2兆円を超える含み損を抱え、その損切りで最終赤字は1.5兆円規模となる見通しとなりました。決算見通しで損となる以上、円安では補えなかったということです。今後、米国債が大量に売られると、米国金利の上昇要因となり得ます



7月27日にOPトレードセミナーを開催予定です

2024年7月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2024年8月

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 日経225ミニオプションのSQ日
- 日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- 祝日取引実施日
- オプション倶楽部TV配信日（ラジオを含む）















注) 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※OP売坊公式X (旧Twitter) @OP49431790でもニュースについてつぶやいています。



OP売坊の**グレイ・リノ** (P.9)

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

-  新世界秩序、**フリクジット (仏版ブリクジット)**
-  気候変動による食料価格高騰・食料危機
-  地政学的リスクの複雑化 (ウクライナ・中東・台湾など)
-  ウクライナ含む世界の難民増 (2023年5月: 1.1億人)
-  日米欧中の経済政策不確実性上昇・債務増・増税懸念
-  2024年米大統領選 (世界的選挙イヤー)
-  米国の不動産バブル崩壊懸念とインフレ再加速
-  各国債の格付引き下げ懸念と基軸通貨「米ドル」の没落
-  中国の不動産バブル崩壊・経済崩壊懸念
-  日本の2024・25・30・40年問題と人口減加速
-  自民党の裏金問題と総裁選 (2024年秋)
-  政府・日銀介入後の為替相場
-  日本企業の不祥事などによる信頼性低下
-  **バフェット指数 (株式時価総額÷名目GDP) の異常値**
 米国: 193.3 (6月27日概算) ← 189.3 (3月28日概算)
 日本: 171.3 (6月27日概算) ← 178.0 (3月21日概算)



米27日夜に開かれた米大統領選討論会ではバイデン大統領の体調・指導力に対する不安が高まった形です。民主党候補の交代の可能性が高まったと考えています

など

グレイ・リノ (灰色のサイ) とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



まだ日本の金利が低い今はSWAP金利が魅力 (P.10)

各種クロス円FXを1枚買い建てたとき付与されるSWAP金利と証拠金、各国債の各種利回りと実質金利

6月28日	買SWAP金利(DMM証券)		SWAP利回り、年率				利回り			備考	10年債 実質金利
	1日分	x 365	(対、額面)	(対、証拠金)	証拠金	為替レート	1か月物	3か月物	1年債		
USDJPY	245	89,425	5.56%	139%	64,353	160.883	5.366%	5.363%	5.124%		1.09%
EURJPY	212	77,380	4.49%	112%	68,936	172.341	NA	3.384%	3.226%	ドイツ	0.09%
GBPJPY	301	109,865	5.40%	135%	81,367	203.417	5.373%	5.292%	4.728%		2.21%
AUDJPY	151	55,115	5.14%	128%	42,922	107.306	NA	NA	4.448%		0.35%
NZDJPY	154	56,210	5.74%	143%	39,198	97.994	5.640%	5.660%	5.425%		0.73%
CADJPY	150	54,750	4.66%	116%	47,044	117.609	4.784%	4.723%	4.418%		0.64%
CHFJPY	85	31,025	1.73%	43%	71,596	178.989	1.000%	1.130%	1.110%		-0.89%
MXNJPY	27	9,855	11.22%	281%	3,513	8.783	11.469%	11.605%	11.041%		5.49%
日本							0.032%	0.022%	0.192%		-1.77%

出所) DMM証券などから筆者作成 (通信講座『週次レポート』より)



日本の低金利政策によって高くなったSWAP金利 (スワップポイント=通貨間の金利差調整分) の受取収益を狙ったクロス円通貨FXの買い建てがFX投資家の間で人気です。なお、個人的にはSWAP金利の年利 (期待収益率) を「証拠金の2倍以上」で考えています。為替変動による含み損分を考慮しているからです。2倍であれば、年利は半分となりますが、それでもかなりの水準です



さまざまな金融商品でOPを活用して分散効果も (P.12)

日経225OP +

商品 (コモディティ) ETF-OP

- ◎ ゼロにはなりにくい
- × 取り扱いのない場合がある

FX-OP

- ◎ ゼロにはならない
- ◎ スワップポイントを活用できる
- △ 主要通貨なら暴落の可能性が小さい
- △ 相対取引である

個別株OP

- ◎ 高配当株や低位株など対象が豊富
- × 倒産リスクがある

ボラティリティETF-OP

- ◎ ゼロにはならない
- × 取り扱いのない場合がある



「finviz」で検索するとOP取引ができる上場銘柄が**5600**以上出てきます (FX-OPを除く、24年3月20日現在)



債券ETF-OP

- ◎ ゼロにはなりにくい
- × 株式に比べて選択肢が少ない



OP戦略ポートフォリオによる分散運用例 (P.13)

	期待 収益率	戦略1		戦略2		戦略3		戦略4		戦略5		
		ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト		
日経225月次OP+ミニOP	10%	100.00%	10.00%	75.00%	7.50%	50.00%	5.00%	17.00%	1.70%	0.00%	0.00%	
米国株	商品ETF-OP	15%	0.00%	0.00%	5.00%	0.75%	10.00%	1.50%	17.00%	2.55%	20.00%	3.00%
	低位株OP	50%	0.00%	0.00%	5.00%	2.50%	10.00%	5.00%	15.00%	7.50%	20.00%	10.00%
	配当王OP	10%	0.00%	0.00%	5.00%	0.50%	10.00%	1.00%	17.00%	1.70%	20.00%	2.00%
	LEAPS	5%	0.00%	0.00%	5.00%	0.25%	10.00%	0.50%	17.00%	0.85%	20.00%	1.00%
FX-OP	15%	0.00%	0.00%	5.00%	0.75%	10.00%	1.50%	17.00%	2.55%	20.00%	3.00%	
ポートフォリオ		100.00%	10.00%	100.00%	12.25%	100.00%	14.50%	100.00%	16.85%	100.00%	19.00%	

	期待 収益率	戦略6		戦略7		戦略8		戦略9		戦略10		
		ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト		
日経225月次OP+ミニOP	10%	90.00%	9.00%	49.00%	4.90%	49.00%	4.90%	20.00%	2.00%	0.00%	0.00%	
米国株	商品ETF-OP	15%	5.00%	0.75%	17.00%	2.55%	0.00%	0.00%	20.00%	3.00%	0.00%	0.00%
	低位株OP	50%	5.00%	2.50%	0.00%	0.00%	17.00%	8.50%	0.00%	0.00%	50.00%	25.00%
	配当王OP	10%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	2.00%	0.00%	0.00%
	LEAPS	5%	0.00%	0.00%	17.00%	0.85%	17.00%	0.85%	20.00%	1.00%	0.00%	0.00%
FX-OP	15%	0.00%	0.00%	17.00%	2.55%	17.00%	2.55%	20.00%	3.00%	50.00%	7.50%	
日経225月次OP+ミニOP		100.00%	12.25%	100.00%	10.85%	100.00%	16.80%	100.00%	11.00%	100.00%	32.50%	

注) 上記は参考として例示したものであり、将来の収益を保証するものではありません。



売坊流OPトレード入門セミナー

7月27日(土) 10時~ (オンライン開催)

不透明な時代、OPで運用の幅を広げてみたい方のために

🎁特典1 受講前に『売坊流OPトレード実践Q&A』を進呈!!

🎁特典2 受講後に『入門テキスト』を進呈!!

講演内容 (予定)

- 1. 日経225CALL売りトレード編**
なぜOPは「売り」が優位なのか
なぜ225OPは「CALL売り」が優位なのか
なぜ利益よりも確率なのか
- 2. 発展編**
米国株ホイール戦略
FXカバード戦略
質疑応答

*Find Your
Options!*



早期割引第二弾
7月10日まで!!

詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011459300007>

オプション倶楽部 検索



【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース会員様の声（抜粋）

オプションの魅力とは？

それほど相場観がなくても利益を出せる
ところです。

ある程度、リスクをコントロールしながら、**確率論の世界**で取引を進めていける点です。

リスク管理（と自己管理）を徹底できれば、安心して利益を出せることです。

日経平均など対象市場が**横ばいでも利益**をとれるところです。



※イラストはイメージです

心理ゲーム的な要素があることです。

低いながらも確実にリターンを得られること、**コツコツと地道に続けられる**ことです。

短期での**変化率の大きさ**です。買い戦略なら証拠金が要りません。

損益を**あらかじめ計算**できることです。

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

8月開講の第10回会員20名様限定募集

充実の180日間!!

(2024年8月～2025年1月末)

米国株OP戦略やFX-OP戦略なども紹介

Find Your Options!

<実践を支える7つのコンテンツ>

- ① 学習プログラム（動画：全9編76回）
- ② 週次レポート（日米市場分析・今週の戦略など）
- ③ 月次セミナー（オンライン生配信とオンデマンド配信）
- ④ アラートメール（暴騰・暴落注意報など）
- ⑤ 個別質問掲示板（スレッド形式で過去の質疑応答も閲覧可）
- ⑥ リスク管理エクセルシート（225OP用・米国株OP用・FX-OP用）
- ⑦ 入門テキスト（PDF：索引付き）

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぎながらOPトレードの本質会得を目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ！



詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011459400004>

オプション倶楽部

検索



【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース会員様の声（抜粋）

本コースが**お役に立ったこと**とは？

『**リスク管理エクセルシート**』は**一生の宝物**です！

『**学習プログラム**』の動画が短い時間でまとめられており、**何度も繰り返し**見ることができました。

『**週次レポート**』で指標の動向を確認して市場全体の**流れが把握できる**点が勉強になりました。

『**月次セミナー**』は事前に資料を確認できるのが参考になっており、特に**追加資料での説明**が毎回格別に参考になっています。



※イラストはイメージです

『**個別質問掲示板**』が具体的な事例が多く、とても参考になります。売坊先生は懲りずに**丁寧に説明**してくださってありがとうございます。

時折相場の状況を見て送ってくださる『**アラートメール**』が**心強かった**です。

『**入門テキスト**』には『**週次レポート**』を読みこなすための**知識もまとめてあり**、大変役立っています。

「**シャープレシオ10**」の運用を目指す意義が分かりましたし、その**戦略が示されている**ことが、とてもすばらしいです。



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からプレミア公開!!

3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週※
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
ワンポイント解説



第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます

※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>